

石井新執行部スタート

令和4年度北海道山岳連盟総会

北海道山岳連盟令和4年度総会・第1回理事会は、5月15日に札幌エルプラザにおいて2年振りの対面形式で開催された。小野会長挨拶の後、議長団に札幌山岳連盟佐藤眞代議員、小樽山岳連盟戸谷薫代議員を選出し議事に入った。

第1号議案「令和3年度を振り返って」では、明田理事長が2月のJMSCA全国理事長会議におけるコロナ禍の事業総括、協会の組織運営におけるコンプライアンスの徹底とガバナンス強化、夏山リーダー制度、山岳スキー競技とJMSCAの取組みなどについての報告をした。

道岳連においても総会はZOOM会議+書面会議併用となり、各委員会行事も中止(延期・縮小)に追い込まれたが、指導、普及、遭対、競技委員会はガイドラインを遵守し一部実施、自然保護、海外委員会は感染対策を徹底し計画通り実施した。また、アウトドアフェスティバルは開催スタイルの変更でコース要員の派遣のみとし、全道交流登山大会は感染の収束の見通しが立たず開催を中止したことなどが報告された。

第2号議案「令和3年度事業報告」、第3号議案「令和3年度収支決算報告」は、各委員会委員長及び担当者がそれぞれ報告、総会時における道岳連の現金残高総額について、五輪種目となる山岳スキーの今後のすすめ方、遭対研修に雪崩予知など予防策の取り入れを、道岳連事業における参加者個人の山岳共済等保険適用の疑義など、久々の対面会議にふさわしい活発な意見交換がなされ、第4号議案「会計監査報告」ともども承認となった。

第5号議案「令和4年度に向けて」で理事長は、新型コロナの拡大、感染収束が読めない状況だが例年通りの事業計画を策定、一堂に集まるのが厳しい中オンライン会議を取り入れ、加盟団体への情報発信・収集に努める。日高登山研修所に代るものとして総合研修会を全道各地の公的施設で実施する。個人会員の山岳会入会と資格取得や道岳連の新規事業に対する情報提供を呼びかけた。

第6号議案「令和4年度活動方針及び事業計画(案)」、第7号議案「令和4年度会計予算(案)」、第8号議案「備品台帳」は提案通り承認された。

第9号議案「役員改選」は、理事会より推挙された会長 石井昭彦(新)、副会長 齊藤邦明(再)、同 下山シゲ子(再)、監事 秋元篤男(再)、同 益田敏彦(新)を選任した。

第10号議案「各種議題・その他」は、今年の10月23日に予定されている「北海道山岳連盟70周年記念式典」について、予算と式典内容等が別掲の通り提示された。

その後、小野倫夫前会長の名誉会長就任、宮西博前監事の顧問就任について推挙の提案があり、了承された。

総会終了後、第1回理事会が開催され、新旧それぞれの役員が退任、就任の挨拶をして閉会した。

70周年記念式典 2022/10/23(日) ホテルライフオート札幌

第1部 記念式典 13:00-13:50

物故者への黙禱

式辞

表彰（会長から）

感謝状授与

特別永年功労表彰

社会貢献表彰

表彰者代表スピーチ

来賓紹介（代表挨拶）

記念ミニ講話

第2部 祝賀会 14:00-15:30

70周年記念事業（一括）

・全道交流登山会登別大会

・山の日登山会

・70周年記念誌

※同日 10:00-12:00

第2回 理事会

行事・各委員会事業報告

登山総合研修会 4/9-10 ネイパル深川・音江山

これまで日高登山研修所で実施してきた研修所開き・納めに代るものとして、2日間にわたり講座、山岳スキーなどの実技研修を開催した。

◎日程 2022年4月9日(土)～10日(日)

◎研修場所及び登山場所 ネイパル深川・音江山(795m)

◎参加者 会員42名 個人会員4名 合計46名

◎研修会 初日は理学療法士本堂講師による「登山における運動生理学・セルフレスキュー」について受講し、二日目は山スキーやスノーシューによる音江山登山やスポーツクライミングに参加し、事故無く解散した。



音江山山頂で集合写真（山スキー班・スノーシュー班）

受講者感想

(スノーシューA班)

個人会員 札幌市・SMさん

初日、ネイパル深川での集合で始まった登山総合研修会に参加しました。施設は、近代建築風の道立青少年体験活動支援施設で、当会以外若者のスポーツ合宿が開催されていて施設の使用細則がしっかりして、研修、食事、入浴、就寝等何か若き頃の緊張感で一杯になりました。

メインの研修は、昨年に夏山リーダー講習を受けた理学療法士の本堂先生から再び内容の濃い「セルフレスキュー&運動生理学+α」を学び、薄れた記憶に活を入れて頂いた思いです。その後就寝前にはコーチ資格者の方々から名だたる山々の経験談が聞けて心躍るものがありました。

翌朝、深夜の雨も上がり曇り空から更なる回復の期待をもって登山口へ移動。登山口で装備点検し、アバランチトランシーバーチェック・準備体操もしっかりとスキー班・スノーシュー班、8時過ぎにスタート、雪質は軟らかめのザラメ状態に感じた。未だ雲が覆う山頂を目指すも、風はなく休憩時には一部早々に上着をザックに詰め込んでいて、その後薄く陽射し始めると皆軽装で十分となりました。

途中夏山ルートでスキー班と合流しスキー班を追って頂上へ出た。晴天とは行かずも遠くに見える大雪山の未だ雪深い真っ白さが際だって見えました。休憩と集合写真後、スキー班と同様のルート取りで下山開始も前半の雪深さにすねが悲鳴を上げ始めたが、A・B班共に予定時間内に下山出来ました。この度の山行で、パーティー内の自分位置で前後の人に異変がないか目視し、それを躊躇なく共有することが大切に思いました。例えばうっかりザックに閉め忘れがあったり、自分では気づかない部分の補助があったりすれば後の危険を回避できるという事等々。自分自身気づかず度入りサングラスを落とし、これを教えてもらい救われた自分がいます。

最後に、少々辛かっただろう先輩同行者の何よりも登頂時と下山到着時のほじける様な笑顔が印象的で嬉しかった。そしてこの度も、主催者と指導者の方々に大変お世話になり感謝いたします。

受講者感想

(山スキー班)

札幌市・MEさん

所属会の会山行は年間計画では4月3日の予定だったので、日程はバッティングしないはず。と早々に道立連登山総合研修会に申込み、この日を楽しみにしてきました。山スキー2シーズン目の自分にとって、スキーで登ってみたい山の一つである音江山であることが大きな理由。

会場の道立青少年体験活動支援組織「ネイパル深川」で受付を終えると、昨年の夏山リーダー検定で一緒した個人会員の方も来られていて、再会を喜ぶと同時にお互いの検定合格を称え合いました。

初日の座学は理学療法士の先生によるセルフレスキュー&運動生理学+α。運動としての登山の特徴を踏まえた水分や行動食の摂り方は、書物などでは得られない価値ある講話でした。そして山岳指導員(コーチ等)の資格更新に必須の研修なので、この道のスペシャリストが多数参加していて、夕食後の自由時間に多くの方とお話しができたことはとても良い刺激でした。

2日目。楽しみにしていた音江山。しかし今日は左のスキーのツッピースが頻繁に外れてしまう。しまいには山頂手前のポコで、ウォーキングモードに切り替えることができなくなってしまいました。かろうじてスキーモードには入るので、所属会の先輩に付き添ってもらい下山することになりました。ピークを踏まずに帰るのは悔しい気持ちがありましたが、こうした装備トラブルへの対処も一つの勉強。そしてエスケープでの地図読み・ルートファインディングを楽しめたことも、ある種成果であったと思います。

横のつながりと学びという貴重な経験を得られました。ありがとうございました。

受講者感想

参加した登別山岳会会員6人のうち、NDさんほかの感想

(NDさん 山スキー)

10日(日)の音江山登山は天気恵まれ、雪は十分でザラメ雪、疎林で斜度も良く、春山スキー滑走を楽しみました。登り2-30分、下り1-00、頂上からの眺めも良く大雪、十勝連峰、天塩、日高、樺戸山系と見事に見渡せました。

(KYさん スノーシュー)

道岳連、深川研修ではお世話になりました。座学も為になりましたし、登山は良い天気恵まれ楽しい山行きができました。参加者の方々との交流で、豊富な経験もお聞きすることができました。思いきって参加して良かったです。有難うございました。

(KHさん スノーシュー)

2日間、大変お世話になりました。勉強会とても為になったし、音江山登山も天気が良く素晴らしく楽しかったです。行き帰りの運転心から感謝致します。ありがとうございました。

(ADさん 山スキー)

リーダーと長距離運転と、本当にお疲れ様でした。音江山は天気良く、稜線は展望良く登れました。下りはザク雪で疲れました。登山不足を痛感、今日は腰痛でした。



音江山登山コース入口

以上、澤田総務委員会委員長

氷壁技術研修会 1/8-9 層雲峡大函・錦糸の滝

- ◎ 日 時 令和4年1月8日(土)～9日(日)
- ◎ 場 所 8日：大函周辺(弧弦の滝、あなたの滝、早乙女の滝)
9日：錦糸の滝
- ◎ 参加者 13名 千歳山岳会4名、斜里山岳会2名、北見山岳会1名、札幌山の会1名
北海岳友会1名、新得山岳会1名、登攀道場美唄1名、個人会員2名
- ◎ スタッフ 5名 明田、下山、石井、M岸、D嶋

◎ 概要

本年度の氷壁技術研修会は、コロナ感染も落ち着き始めたので1泊2日で実施することとしましたが、参加条件として新型コロナワクチンを2回接種し8ヶ月以内の方、又は3回目接種済み、若しくは72時間以内のPCR検査が陰性の方とさせていただいた。更に、参加者、スタッフ共に1週間前からの健康チェック表付けてもらうことを義務付けて開催しました。

初日は天候も良く皆さん時間前に集合でき、駐車場は車で一杯になりました。当初、覆道上の滝を予定していましたが、先行パーティーがいたので大函内の「弧弦の滝」ほかに変更して行いました。3つの滝にそれぞれトップロープを張って、参加者に順番に登ってもらいました。

ホテルに着くと、温泉が利用できないと・・・。修理しているが直せるか不明の状態なので、先に机上講習を済ませて待つこととなり、道内各地にある氷瀑を紹介して待ちました。講習修了後、男湯のみ利用可能になったとのことで、男女交代で入浴することになりました。その後夕食を食べ、コロナ禍のため懇親会は中止して就寝しました。

翌日は「錦糸の滝」で行いましたが、講師3名が早立ちして場所取りをしました。登るルートは中央に60m1本で登るルート、右側にやや垂直のトップロープ、左側に傾斜の緩いトップロープを張り、参加者に挑戦したいところを登ってもらいました。また、セカンドの確保、リードの仕方、V字スレッドの作り方、クライミングフォーム、懸垂下降等の技術講習を行いました。

今回も、下山海外登山委員長が美味しい甘酒を用意してくれて、冷えた体を暖めることができました。ありがとうございました。

担当：石井 昭彦

受講者感想

個人会員 N. M



錦糸の滝を登るN. Mさん本人

初心者で道具もなく参加した2020年から、寒さ対策のレイヤリング、クライミングギアや基本動作とご指導をいただきました。

そして3年目の今回は途中でギブアップすることなく全ての滝を登ることが出来ました。錦糸の滝を60m登り切った時は指先の千切れそうな激痛に悶絶指の感覚が戻るのと同じく燃えるような感動も経験出来ました。

参加するたびに技術習得でき、クライミングの楽しさと更なるレベルアップに心がざわつくばかりです。

コロナ禍で感染対策にいつも以上に負担が多かったとは思いますが、安心して参加できる体制を整えていただきありがとうございました。

道岳連指導委員会、海外登山委員会、スタッフとして参加してくださっている方々に、心よりの感謝と共に、来年もまた宜しく願います。

冬山講習会 Part2 3/12-13 ニセコアンヌプリ・シャクナゲ岳

【スキー班報告】

- ◎ 日 時 2022年3月12日(土)～3月13日(日)
- ◎ 集合場所 五色温泉付近駐車場
- ◎ 参加者 (スキー1班、2班)6名、スタッフ3名 合計9名
- ◎ 行動記録 3月12日(1日目) 五色温泉付近駐車場～ニセコアンヌプリ
9:30 駐車場集合・開講式⇒ 9:45 出発⇒10:00 コンタ 900m

尾根上 風強くてここから下山。 11:30 出発点付近に戻る。
近くの山でスキー楽しんだ後、13:00 宿舎⇒ 14:00 座学研修

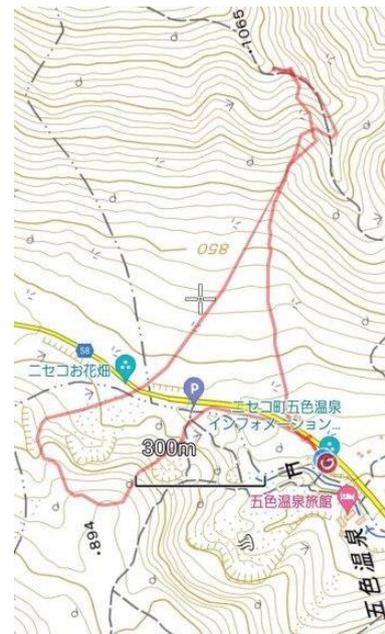
今回の講習会は、まだコロナの影響が心配されたのですが、
感染防止対策を徹底し開催しました。五色温泉から上の行き止
まりの駐車場に集合、風が強くて視界も悪く、コンディション
としては余り良くない中、開講式後スキー班、スノーシュー
班に分かれ装備、点検とビーコンのチェック後アンヌプリ頂上
を目指して出発。沢の中を登り森林帯を過ぎ尾根上に出た頃には、
時々飛ばされそうな強い風が吹き、止む無くここから下山
する。下がった所で昼食をとり、気分転換に風の当たらない向か
いの山に登ってスキーを楽しんだ後、本日宿泊の五色温泉別館
に入る。橋本講師、横山委員長からアバランチトランシーバー



小野会長スポーツ賞受賞祝賀ケーキ

及び地図と
コンパスの
使い方につ
いて、実践

を交えて夕食までじっくり学びました。今回参
加された北海道山岳連盟小野会長が 12 年間の
長い間、会長として先頭になり連盟を引っ張っ
てこられた功績で、北海道スポーツ賞を受賞さ
れました。また、毎回この講習に参加されてい
る Y さん H さんが目度く結婚されたことを記
念して、お祝いのケーキで祝福しました



3月13日（2日目） チセヌプリ駐車場からシャクナゲ岳山頂

7:50 チセヌプリ駐車場集合出発⇒ 10:00 ビーナスの丘⇒ 10:30 シャクナゲ岳頂上⇒ 10:30

12:00 駐車場着⇒ 13:00 解散

本日は朝から快晴の中、「休止しているチセヌプリスキー場内を少し登った所から参加されている
付きチセヌプリを巻いてビーナスの丘を目指し快調に進む。

ビーナスの丘から少し行ったシャクナゲ岳の登りでスキーアイゼンの使用者とスキーを担いで登
るグループに分かれ、30分程でニセコ連山が一望できる山頂に着いた。

頂上でスノーシュー班と合流し、記念写真を撮った後、急な南斜面を滑って一足先に駐車場に到
着する。今日は天気恵まれ、昨日の分まで春山を十分に満喫。また次は厳冬のパウダースノー
を楽しみに訪れたい所です。

閉講式後三本締めで解散となりました。

普及委員会 細木 輝雄

参加スタッフ 小野 倫夫 横山 温 細木 輝雄 橋本 一郎 立花 昇 横山 泰子

【スノーシュー班報告】

◎参加者（スノーシュー1班、2班）6名、スタッフ3名 合計9名

◎行動記録・報告

3/12は曇りで風もあり、頂上付近は雲の流れも速い中、山頂目指してスタートした。スキー班と
一緒に登り始めたが、私たちは奥の沢を快適に交代しながら上り詰める。途中から強風に煽られな
がら稜線に出ると予想以上の強風で体が飛ばされそうだ。しかし、もう少し上まで頑張れるとクラ

スト斜面を登るもE V1, 225m地点においてホワイトアウト状態で限界と判断し、安全な場所でアイゼンに取り替え下山を開始する。E V1, 071m地点まで下ると天候も回復し、沢の中でアイゼン歩行・ピッケル操作・耐風姿勢等を行い駐車場まで全員が無事下山した。予定時間より早かったが、五色温泉別館に到着し、講習会・夕食と1日が終わった。

3/13は予定より早めにチセヌプリ駐車場に移動し、シャクナゲ岳を目指した。昨日の天候がうそのように無風で日射しも強く暖かい。順調にスキー場を通過しビーナスの丘を通りシャクナゲ岳の分岐でスキー班と合流し、アイゼンに履き替えシャクナゲ岳の山頂に到着。360℃ニセコ mountain range が美しい中、スキー班と皆で記念写真を写し下山を開始する。

スキー班は各々快適に滑走していった。私たちはゆっくりとしたペースでチセの分岐を通過し、E V850m付近で全員が揃いシャクナゲ岳をバックに記念写真を写し下山した。

13時には全員が駐車場で閉会を小野会長始め各リーダーの挨拶後に細木さんの三本締めで締めた。コロナ禍ではあったが、万全の対策で普及委員会の行事を終えた。安全登山が出来ありがたい。

普及委員会 立花 昇



シャクナゲ岳を満喫

受講者感想

札幌市 U.N さん

会員の友人の紹介で、今回初めて参加させて頂きました。登山経験が少なく、知識がありませんので、冬山講習会はうれしかったです。

初日のアンヌプリ。初めてビーコンを装着。チェックの仕方も教えていただきました。こういうものがあるのも初めて知りました。残念ながら強風で途中撤退となり、山の天気怖さを知りました。

宿に着いてからは、コンパスの使い方、ピッケルやアイゼンの講習がありました。また、皆さんの道具を見せて頂き、とても参考になりました。

2日目は、とても良いお天気となり、ビーナスの丘からシャクナゲ岳に登りました。アイゼンやピッケルを貸して頂き必死で登りました。山頂の景色の素晴らしさ、皆さんと写真を撮ったこととても嬉しかったです。

これから、いろいろな山に登ろうと思います。今回教えていただいたことを忘れずに、安全に楽しい登山をしていきたいと思っています。ありがとうございました。

第10回リードユース日本選手権派遣選手選考会

1/16 美唄市体育センター

【ユースC】

総合順位 1位 下山 十和
同 2位 吉田 稀羅
同 3位 竹田 龍泉

【ユース女子】

総合順位 1位 上原子音羽
同 2位 吉田 ゆな
同 3位 酒井 雪羽

【ユース男子】

総合順位 1位 若宮 楽空
同 1位 荒川 翔哉
同 1位 工藤 賢悟

※5/14-15 全国大会(富山県南砺市)派遣選手はユース男女
それぞれ上位3名

第8回ボルダリングユース日本選手権派遣選手選考会

3/13 グラビティリサーチSAPPORO

【ユース男子】

順位 1位 荒川 翔哉
同 2位 工藤 賢悟
同 3位 岡山 そら

【ユース女子】

順位 1位 吉田 ゆな
同 2位 酒井 雪羽
同 3位 上原子音羽

【ユースC】

順位 1位 吉田 稀羅
同 2位 荒井 優音
同 3位 下山 士和

※6/11-12 全国大会(鳥取県倉吉市)派遣選手はユース男女
それぞれ上位3名

今後の諸行事

夏山リーダー講習会 (指導委員会)

令和4年5月28日(土)-29日(日) 机上講習会場 手稲区民センター

令和4年7月2日(土)-3日(日) 実技講習会場 手稲山・パラダイスヒュッテ周辺

安全登山講習会 (遭難対策委員会)

令和4年6月4日(土)-5日(日) 会場 国立大雪青少年交流の家

夏山講習会 (普及委員会)

令和4年6月4日(土) 日帰り 会場 恵山(恵山森林浴コース)

第7回ジュニアスポーツクライミング奈良杯 (競技委員会)

令和4年6月5日(日) 会場 美唄市体育センター

2020 ジュニア登山教室 (ジュニア委員会)

令和4年7月18日(土) 日帰り 会場 小樽海岸自然探勝路ほか

日本スポーツ協会公認スポーツクライミングコーチ1養成講習

令和4年9月3日(土)-4日(日) 10月29日(土)-30日(日) (競技委員会)

会場 小樽潮陵高校・赤岩小屋

※道岳連HPに募集要項掲載の諸行事のみ掲載

新型コロナウイルス感染予防に関するガイドライン

2022年3月25日

北海道山岳連盟

※まんえん防止等重点措置、緊急事態措置が発令されている場合

1. 開催事業について

レベル0.1 感染予防に留意する

レベル2 感染予防に留意し宿泊をとまなう事業は感染予防対策が実施されている施設とする

レベル3.4 中止または延期

2. 事業開催の場合(主催者要項に遵守)

新型コロナワクチン接種2回以上が確認できるものを提出

体質的にワクチンが打てない場合はPCR検査(3日前)、抗原定性検査は検査日から1日以内(検査日プラス1日)を実施して陰性が確認できるものを提出

健康管理チェックシートの提出と保管

3. 濃厚接触者との関係

北海道社会福祉部感染症対策課にある「ご自身や身近な人が新型コロナに感染したときの対応について」を遵守

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kst/kansenkakudai_taiou.html

4. まん延防止等重点措置の要請内容

◆「三つの密（密閉・密集・密接）」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスク※の着用」「手指消毒」、「換気」をはじめとした基本的な感染防止対策を徹底する
※不織布マスクを推奨

◆発熱等の症状がある場合は、外出や移動を控え、かかりつけ医や診療・検査・医療機関を受診する

◆ワクチン接種の有無にかかわらず、感染に不安を感じる無症状の道民の方は検査を受ける

（特に外出の際は）

◆混雑している場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を控える

◆普段会わない方や重症化リスクの高い方※と接する際は、基本的な感染防止対策を更に徹底する

※高齢者、基礎疾患のある方、一部の妊娠後期の方

◆不要不急の都道府県間の移動は極力控える

道岳連だより

北海道山岳連盟広報 No.9 4 令和4年5月20日発行

発行 北海道山岳連盟 事務所 札幌市厚別区厚別北1条1丁目1-4-102号

発行責任者 石井 昭彦 編集担当(総務) 内藤 美佐雄